

哲 學 研 究

第 二 十 卷 第 七 冊

第 三 百 六 十 號

昭 和 二 年 七 月 一 日 發 行

辨證法の論理(承前).....文學博士 田 邊 元

ベルグソンに於ける.....

時間と永遠.....文學士 唐 木 順 三

カント第三批判序文前稿.....

について.....文學士 中 井 正 一

寄贈書籍雜誌.....

大 都 京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

1606144

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌「哲學研究」ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、「哲學研究」ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士	植田壽藏
文學博士	狩野直喜
文學博士	小西重直
文學士	高坂正顯
文學士	高島祐馬
文學士	小村專太
文學士	澤村太
文學博士	高瀬武次
文學博士	田邊元
文學士	高橋俊乘
文學博士	朝永三十郎
文學士	中井正一郎
文學博士	西田幾多郎
文學博士	野上俊夫
文學博士	波多野精一
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	松本文三郎
文學士	和辻哲郎

前 號 目 次

戒律より見たる佛教の道德思想……………	文學博士	松本文三郎
社會心理的相互作用過程……………	文學士	臼井二尙
十九世紀前半の佛蘭西畫壇に於ける寫實主義の變遷(三)……………		小林太市郎
彙報其他……………		

告 會

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪榮〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學 文學部内 京都哲學會

定 規 文 註

● 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
 ● 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
 ● 振替貯金にて御送金 (振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番) 内外出版株式會社宛に願上候
 ● 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ● 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金 四 拾 錢	金 壹 錢
六冊	冊	金 貳 圓 四 拾 錢	不 申 受
十二冊	冊	金 四 圓 八 拾 錢	不 申 受

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和二年六月廿五日印刷納本
 昭和二年七月一日發行
 第百三十六號 第十二卷 第七册

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内
 右代表者 京都哲學會
 高橋 俊 乘
 須磨 勘兵衛
 須磨 勘兵衛
 印刷者 須磨 勘兵衛
 印刷所 須磨 勘兵衛
 京都市北小路通新町西入
 京都市西洞院通七條南入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南
 内外出版株式會社

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
 販賣所 京都市日本橋區本銀町三ノ十四
 内外出版株式會社

賣捌所 (東京) 寶文館 東 京 堂 東 海 堂
 (大阪) 寶文館 北 隆 館 上 田 屋
 (神戸) 寶文館 寶 文 館 盛 文 館 川 瀨 書 店 參 文 社
 (京都) 共盛社 大盛社